testo Saveris SBEを用いた計測データモニタリング

スタートアップのためのインストラクション

1 システム要件

基本ソフト(OS)

ソフトウェアを作動させるには次の基本ソフト(OS)が必要です。

- Windows® XP SP3 またはそれ以上
- Windows® Vista Homeプレミアム(32 ビット版)またはそれ以上
- Windows® Vista Ultimate
- Windows® 7

コンピュータ

本ソフトウェアで快適に作業を進めるには、上記の OS、次の要件が満たされている必要があります:

- 800MHz 以上の Pentium プロセッサ
- 512MB 以上の RAM、推奨: 1 GB
- 4.5GB の未使用領域を持つハードドライブ(データベース容量、最大時)
- CD-ROM または DVD-ROM ドライブ
- USB 2.0 インターフェース

> **i** 円滑な自動操作を確実なものにするには、コンピュータが継続動作するようにコンピュータのプロセッサ、ハードディスク、および USB インタフェースを構成しなければなりません。 必要に応じ、コンピュータの省電力機能をチェックして無効にしてください。

- Microsoft® Internet Explorer 6.0 SP1 またはそれ以上
- Microsoft® Windows Installer 3.1 またはそれ以上
- MDAC 2.8 SP1 またはそれ以上
- .NET Framework 2.0 またはそれ以上

> **i** Windows® Installer 3.1、MDAC 2.8 SP1、.NET Framework 2.0 がインストールされていない場合、Saverisソフトウェアの CD から インストールすることができます。

- Microsoft® Outlook

データベース

・SQL サーバ 2005 Express　SP2 対応

・各 32bit　SQL サーバ 2005/2008 または、Terminal Server 対応

Lotus Notes を使用する場合には、Exchange Server 用のアダプタをセットアップしなければなりません。必要であれば、システム管理者に相談してください。

・　Microsoft SQL Server 2005 V9.0 Express Edition

Testo Saveris は SQL データベース(Microsoft SQL Server 2005 V9.0 Express Edition)で動作します。インストールするコンピュータに V9 か V10 の SQL Server が既に存在するなら、Testo Saveris 用に 2 番目のインスタンスを作成してください。

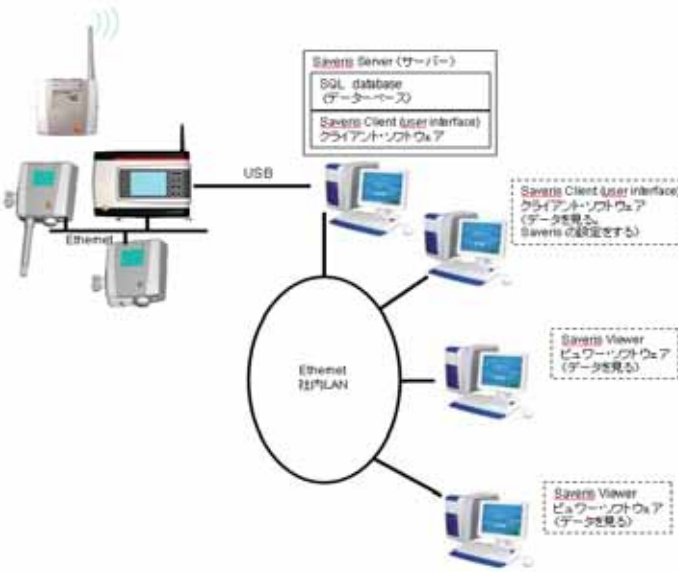
マイクロソフト SQL データベースの Saveris インスタンスへのアクセスは、ファイアウォールを通して行なわれます。そのためには、ポートの定義、ファイアウォールのオープンが必要です。マイクロソフト社の安全に関する指示にご注意ください。

ウィルス対策ソフトを使用していると、システム構成により異なりますが、システムのパフォーマンスが低下することがあります。

仮想化 OS 上で本ソフトウェアをインストールするときは、利用可能なシステム・リソースを必ずチェックして、必要に応じて改善、対策を実施してください。

1.1. ネットワーク環境

Saveris PROF ソフトウェアは、一台のコンピュータにインストールして運用することはもちろん、ネットワーク環境下ではクライアント–サーバー方式での運用も可能です。



Saveris サーバー（Saveris Base と接続するコンピュータ）は、Saveris システムの設定やデータ表示を行なう SaverisClient ソフトウェアと測定データを蓄積するデータベースで構成されます。 Saveris Client ソフトウェアまたは Saveris Viewer ソフトウェアをインストールしたクライアントコンピュータでは、Saveris サーバー内のデータを自由に取り出して表示したり、サーバーを通して Saveris システムの設定を行なえます。

2 ファースト・ステップ

この取扱説明書は testo Saveris 計測システムのスタートアップに必要な手順だけをまとめたものです。

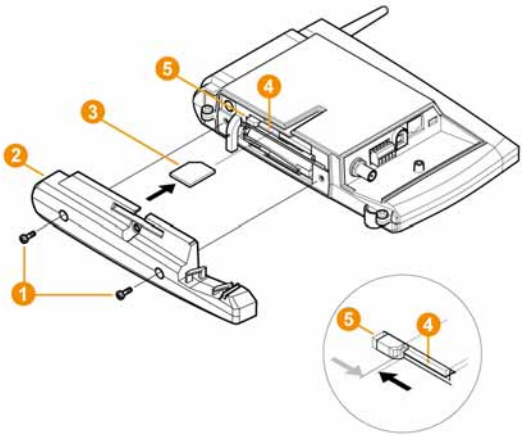
別のCDに収められたPDFファイル形式の総合取扱説明書には、スタートアップのための情報だけでなく、安全のための取り扱い説明や、その他 Saveris ソフトウェアを用いて行う作業についての情報や説明が含まれています。

2.1. SIM カードの挿入（オプション）

GSM モジュールが組み込まれた Saveris Base（注：日本では使用できません）の場合、使用前に SIM カードを挿入します。

SMS(ショートメッセージサービス)で警告メッセージを送るために必要な SIM カードはセットに含まれておりません。別途、携帯電話プロバイダから購入してください。

いわゆるプリペイド式の SIM カードは クレジットを使い尽くすと SMS で警告メッセージを送ることができなくなりますので、携帯電話契約をした SIM カードをご利用になることをお勧めします。

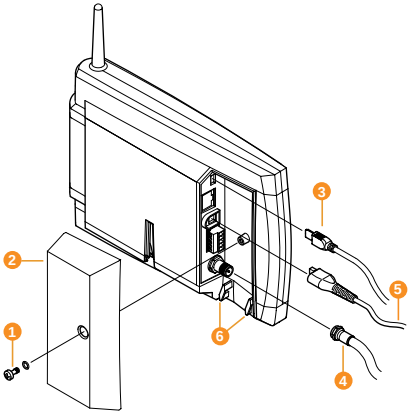


1. Saveris Baseのスイッチを切ります（Info：ﾍﾞｰｽ ビューを選んで、[ESC] を 2 度押します）。
2. ネジ ❶ を緩めて、Saveris Baseからプレート ❷ を外して下さい。
3. SIM カード ❸ を図のようにカードスロット ❹ に差し込んでください。

SIM カード ❸ を差し込むとキャッチ部分 ❺ が脇に押されます。カードが完全に挿入されると、スプリングによってキャッチ部分が押し戻されて SIM カードがカードスロットに固定されます。

4. プレート ❷ を Saveris Base にネジ ❶ で留めてください。

2.2. Saveris Base のケーブル配線



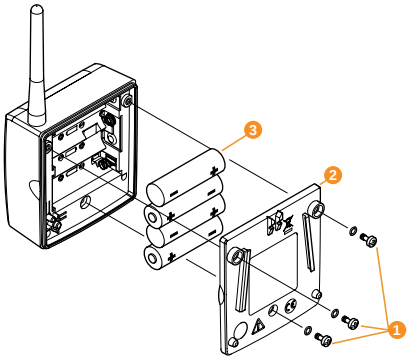
1. ネジ 1 を緩めて、Saveris Baseからカバー 2 を取り外して下さい。
2. USBケーブル 3 を Saveris Base に接続してください。

> Saveris Base に GSM モジュールが付いている場合には、アンテナケーブル 4 をねじ込みながら接続してください。

3. ACアダプタのDCケーブル 5 を Saveris Base に接続してください。
4. ケーブルにかかる張力を緩和するため、ケーブルタイを使用してアイレット 6 にケーブルを固定してください。
5. カバー 2 をSaveris Baseにネジで留めてください。
6. ACアダプタの電源プラグをコンセントにつないでください。

– 電源を投入すると言語選択画面が表示されます。そこで言語を選択すると操作準備が始まり、約 30 秒後に操作可能になります。
Saveris Base のディスプレイに、無線プローブやルーターと接続するための簡単な説明が現れます。

2.3. バッテリーをプローブに挿入する



1. プローブ背面のネジ 1 を緩めてください。
2. プローブのケースカバー 2 を外してください。
3. バッテリー 3 を挿入してください。

バッテリー収納部に正しい取付方向と極性が図解されています。

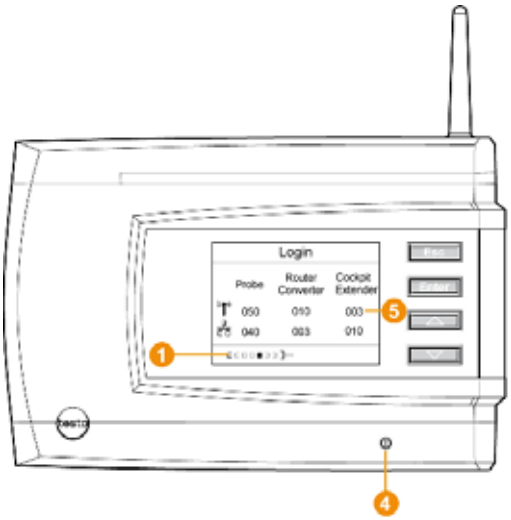
4. プローブ本体にケースカバーを置いてください。
5. ケースカバーをネジでプローブ本体に留めてください。

プローブ本体にはカバーを通して作動するコントロールスイッチが付いています。これを作動させるには、プローブ本体との間に隙間が出来ないようにカバーをネジで留めなければなりません。

隙間が出来ないようにカバーをネジで留めないと、プローブは操作することができません。

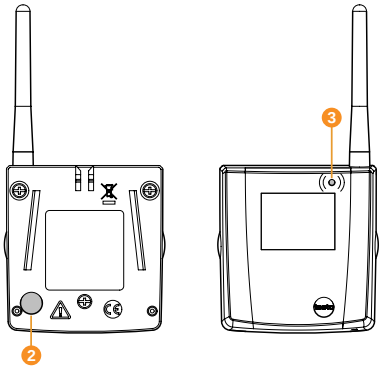
2.4. 無線プローブの接続

Saveris Base に直接接続可能な無線プローブは 15 台までです。ルーターまたはコンバーターを利用して、より多くの無線プローブを登録する場合には、別の CD に収められた総合取扱説明書を参照してください。



1. Saveris Baseで、[▼] キーを用いて Info:システム メニューを表示させます。ログイン機能を呼び出すために [Enter] キーを押してください。

- ディスプレイのステータスバー 1 に、Saveris Baseがプローブ探知モードであることを示すアニメーションが表示されます。



2. プローブのLED 3 がオレンジ色に点滅し始めるまで、プローブの後ろ側にあるCONNECTボタン 2 を押し続けてください。

– プローブが Saveris Baseによって探知されると、プローブのLED 3 が短時間緑色に変わります。

同時に Saveris Base のLED 4 が短時間緑色に点滅し、Base のディスプレイに「続けて、別の無線プローブまたはルーターの登録を行ないますか？」のメッセージが表示されます。

同時に複数のプローブを Saveris Base に登録することはできません。複数のプローブを登録する場合は 1 台ずつ登録を行なってください。

3. Saveris Base で、次のいずれかのキーを押してください:
   - それ以上登録するコンポーネントがないとき; [Esc] キー
     – コンピュータのスタートアップアシスタントで行なう作業に関する注記が約 10 秒間ディスプレイに表示されます。
     その後、Saveris BaseがInfo:システム メニューに変わり、そこに接続されているコンポーネントの数5が表示されます。
   - さらにコンポーネントを登録するとき; [Enter] キー
     （ステップ2を参照）
4. 無線リンクをチェックするために、測定を行なう場所にプローブを持っていってください。
5. プローブの後ろ側にあるCONNECTボタン 2 を短時間押してください。

   プローブのLED 3 が
   - 緑色に点滅するならば、無線リンクが存在します。
   - 赤色に点滅するならば、無線リンクは存在しません。

プローブとSaveris Baseの間に無線リンクが存在しないときには、ルーターを組み込んでください。; **Saverisルーターの組み込み（オプション）**11 ページを参照。

ルーターへのプローブの割当ては、ハードウェアのスタートアップ中に行ないます。; **ハードウェアのスタートアップ** 21 ページを参照。

2.4.1. Saveris ルーターの組み込み（オプション）

構造的な条件が悪い場所で無線通信を最適化したり、通信経路を延長したりするために Saveris のルーターを使用できます。ルーターは複数の無線プローブの信号を受信して、それらの信号を Saveris Base に転送します。同一システム内に最大 3 台の Saveris ルーターを組み込むことができます。

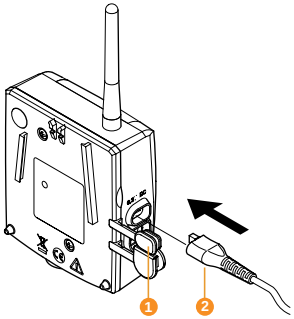
ルーター1 台当たり(ルーター直列接続当たり)最大 5 台までの無線プローブの計測データを Saveris Base に送ることができます。

最大 30 台のルーターを計測システムに組み込むことができますが、Saveris Base が同時通信できるのは最大 15 台です。

ルーターの位置決めをするときには次の点に注意してください:

- ルーターに複数のプローブを組み込むときには、最も弱い無線リンクをもったプローブがルーターの位置を決定します。このプローブが望ましい無線リンクを得られるような位置にルーターを設置してください。
- プローブとルーターは、アンテナが上方に向かって揃うように取り付けてください。
- プローブとルーター、ルーターと Saveris Base の間の無線リンクが、構造的な条件（壁、棚等）から大きな影響を受けないように取り付けてください。
  できるだけ多くの無線リンクをもった「ビジュアルコンタクト」ができるようにルーターとプローブを取り付けてください。

2.4.1.1. ルーターを電源に接続

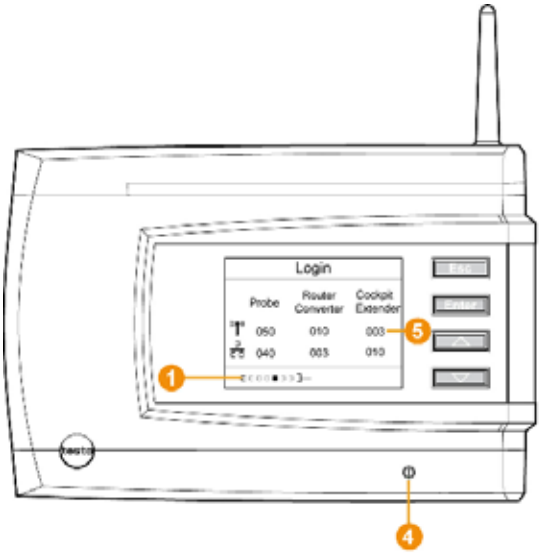


1. カバー 1 を開けてください。
2. ACアダプタのDCケーブル 2 を差し込んでください。
3. ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

2.4.1.2. ルーターを Saveris Base に接続する

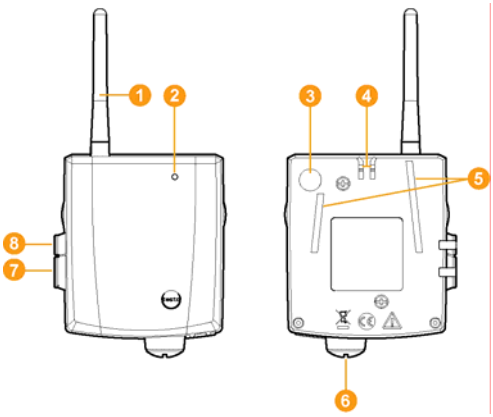
Saveris Base には最大 30 台までのルーターを接続することができます。

Saveris Base が同時通信できるのは最大 15 台です。



1. Saveris Baseで、[▼] ボタンを用いてInfo:システム メニューに変えてください。
2. ログイン機能を呼び出すために [Enter] キーを押してください。

– ディスプレイのステータスバー 1 に、Saveris Baseがプローブ探知モードであることが表示されます。



3. ルーターのLED ❸ がオレンジ色に点滅し始めるまで、ルーターの後ろ側にあるCONNECTボタン ❷ を押し続けてください。

– ルーターからの電波が Saveris Base によって探知されると、ルーターのLED ❸ が短時間緑色に変わります。
Saveris Base のLED ❹ が短時間緑色に点滅し、ディスプレイに「続けて、別の無線プローブまたはルーターの登録を行ないますか？」のメッセージが表示されます。

同時に複数のルーターを Saveris Base に登録することはできません。複数のルーターを登録する場合は、1 台ずつ登録を行なってください。

4. Saveris Base で、次のキーを押してください：

· それ以上登録するコンポーネントがないとき; [Esc] キー

– コンピュータのスタートアップアシスタントで行なう作業に関する注記が約 10 秒間ディスプレイに表示されます。
その後、Saveris BaseがInfo:システム メニューに変わり、そこに接続されているコンポーネントの数❺が表示されます。

· さらにコンポーネントを登録するとき; [Enter] キー
（ステップ2を参照）

2.5. Saveris ソフトウェアのインストール

> インストールの前に: 開いているプログラムを全て閉じ、Autostartプログラムへの入力を全てオフにしてPCを再起動して下さい。

プログラム及びドライバーをWindows® 2000 SP4、XP、及びVistaにインストールするには、管理者(Administrator)の権限が必要です。

別のユーザーとして実行… ではなく直接、管理者(Administrator)としてログインして下さい。

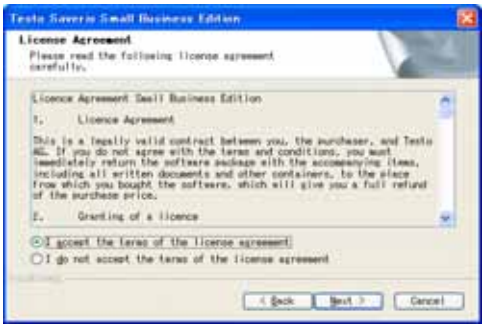
1. Saverisソフトウェアの入ったCDをCD-ROMドライブに入れてください。インストールプログラムが自動的にスタートしないときには、Windows® Explorer(エクスプローラ)を開いてCDのSetup.exeファイルをスタートさせてください。

– インストールウィザードが起動します。

Testo Saveris Small Business Edition
Welcome to the InstallShield Wizard for Testo Saveris Small Business Edition
The InstallShield® Wizard will install Testo Saveris Small Business Edition on your computer. To continue, click Next.
< Back
Next >
Cancel

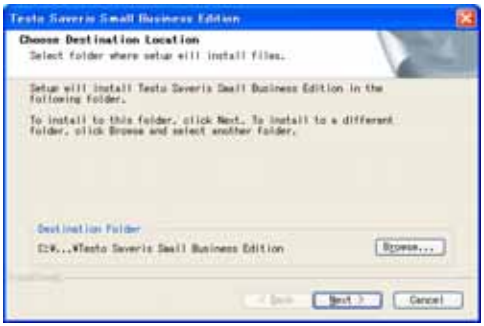
2. [Next] をクリックします。

– License Agreement(ライセンス契約)の文言が表示されます。


Testo Saveris Small Business Edition
License Agreement
Please read the following license agreement carefully.
Licence Agreement Small Business Edition
1. Licence Agreement
This is a legally valid contract between you, the purchaser, and Testo AG. If you do not agree with the terms and conditions, you must immediately return the software package with the accompanying items, including all written documents and other containers, to the place from which you bought the software, which will give you a full refund of the purchase price.
2. Granting of a licence
I accept the terms of the license agreement
I do not accept the terms of the license agreement
< Back
Next >
Cancel

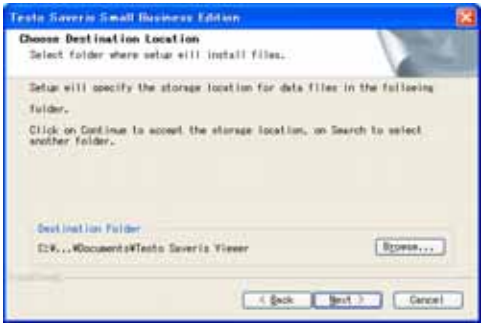
3. インストールを続けるために**I accept the terms of the license agreement**（上の行）を選択して、**[Next]** をクリックします。

– プログラムをインストールするフォルダの選択画面が表示されます。


Testo Saveris Small Business Edition
Choose Destination Location
Select folder where setup will install files.
Setup will install Testo Saveris Small Business Edition in the following folder.
To install to this folder, click Next. To install to a different folder, click Browse and select another folder.
Destination Folder
C:¥...¥Testo Saveris Small Business Edition
Browse...
< Back
Next >
Cancel

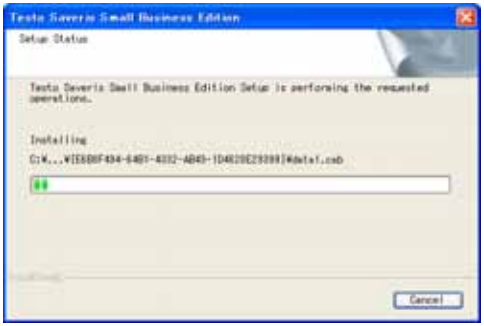
4. 表示されているフォルダで良ければ、**[Next]** をクリックします。

– データファイルの保存に使用するフォルダの選択画面が表示されます。


Testo Saveris Small Business Edition
Choose Destination Location
Select folder where setup will install files.
Setup will specify the storage location for data files in the following folder.
Click on Continue to accept the storage location, or Search to select another folder.
Destination Folder
C:¥...¥Documents¥Testo Saveris Viewer
Browse...
< Back
Next >
Cancel

5. 表示されているフォルダで良ければ、**[Next]** をクリックします。

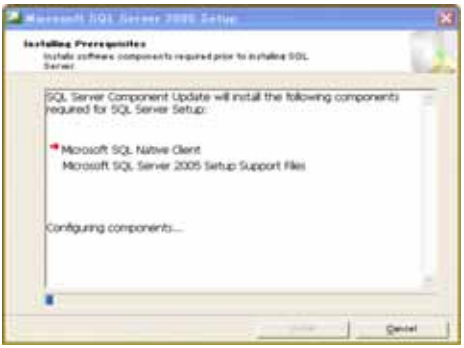
– Saveris Small Business Edition のインストールが始まります。


Testo Saveris Small Business Edition
Setup Status
Testo Saveris Small Business Edition Setup is performing the requested operations.
Installing
Cancel

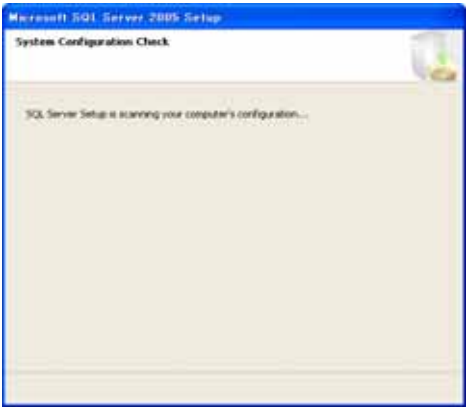
- Saveris Small Business Edition のインストールが完了すると、引き続いて他のソフトウェア（SQL Server 等）のインストール準備が始まります。

Setup Status
Testo Saveris Prerequisites Setup is performing the requested operations.
Installing Windows Installer. Please wait a few minutes.
Cancel

- SQL Server のインストールに必要なコンポーネントのインストールが始まります。

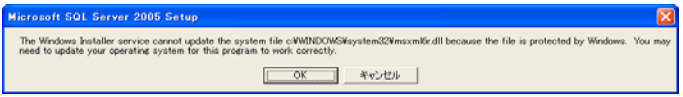

Installing Prerequisites
SQL Server Component Update will install the following components required for SQL Server Setup:
Microsoft SQL Native Client
Microsoft SQL Server 2005 Setup Support Files
Configuring components...
Cancel

- コンピュータのシステム構成がチェックされます。


Microsoft SQL Server 2005 Setup
System Configuration Check
SQL Server Setup is scanning your computer's configuration...

- SQL Server 関連コンポーネントのセットアップが行なわれます。

- メッセージが表示された場合は、[OK] をクリックします。


Microsoft SQL Server 2005 Setup
The Windows Installer service cannot update the system file c:¥WINDOWS¥system32¥msxml6r.dll because the file is protected by Windows. You may need to update your operating system for this program to work correctly.
OK
キャンセル

- インストールが完了すると、完了画面が表示されます。

InstallShield Wizard Complete
Yes, I want to restart my computer now.
No, I will restart my computer later.
Remove any disks from their drives, and then click Finish to complete setup.
Finish

6. インストールを完了させるためにコンピュータを再起動します。
   Yes, I want to restart my computer now. を選択して、[Finish] をクリックします。
   コンピュータが再起動したら、前回と同じユーザー名でログインして下さい。

以下のソフトウェアが、testo フォルダにインストールされます。

- Testo Saveris Small Business Edition : データ分析用ソフトウェア
- Testo Saveris Startup Wizard : システム設定用ソフトウェア
- Testo Saveris Ethernet device startup : イーサネット・デバイスの設定用ソフトウェア

Saveris Base の接続に必要な USB ドライバーが Saveris ソフトウェアと共にインストールされます。
Saveris Base をコンピュータにつないだときに Saveris Base が新しいハードウェアとして認識されない場合には、USB ドライバーを手動でインストールしなければなりません。

2.5.1. SMTP メールのインストール

Saveris システムが発するアラームや自動作成したレポートを電子メールで送信するには、SMTP メールをインストールする必要があります。

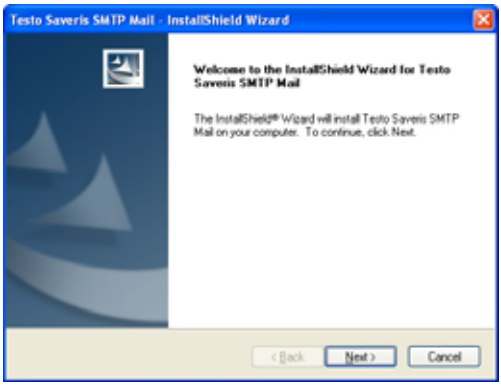
SMTP メールのインストールのためには、以下の前提条件が満たされていなければなりません:

- SMTP サーバーの名前がわかっていること。
- インターネット・プロバイダーにより、1 つのメール・アカウントが利用可能になっており、またセットアップされていること。
- プロバイダーデータ(E メールアドレスとメールボックス)がわかっていること。

1. Saverisソフトウェアの入ったSaveris製品CDをCD-ROMドライブに入れてください。

> インストール・プログラムが自動的にスタートした場合は、インストールをキャンセルしてください。

2. Windowsのエクスプローラ(Explorer)を開いて、Saveris製品CDの入ったCD-ROMドライブを選択してください。
3. **Testo Saveris SMTP Mail**フォルダを開いて**Setup.exe**ファイルをクリックして、インストーラーをスタートさせてください。
   - インストールウィザードが立ち上がります。



4. **[Next]** をクリックします。

認証がアプリケーションに必要であるなら、単にアドレスとパスワードを入力してください。

5. Password 欄にパスワードを入力します。
6. Repeat password 欄にパスワードをもう一度入力します。
7. Mail server 欄でメールサーバーを選択するか、サーバー名を入力します。
8. [Continue] をクリックします。

– SMTP メールがインストールされます。.

2.6. ハードウェアのスタートアップ

ハードウェアをスタートアップするには次の条件が満たされていなければなりません:

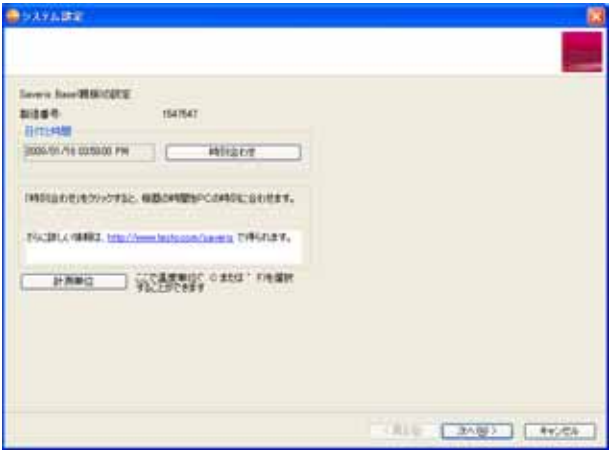
- Saveris Base の運転準備が整っている（**Saveris Base のケーブル配線** 7 ページを参照）。
- 全てのプローブが Saveris のベースに登録されている（**無線プローブの接続** 9 ページを参照）。
- Saveris ソフトウェアがコンピュータにインストールされている（**Saverisソフトウェアのインストール** 15 ページを参照）。

1. Saberis Base を USB ケーブルでコンピュータに接続してください。

– スタートアップアシスタントがスタートします。

Windows® 2000 では、[スタート] | プログラム | Testo | Testo Saveris Startup Wizardを用いて手動でスタートアップアシスタントを呼び出さなければなりません。

2. [先に進む >]をクリックしてください。



– Saveris Base の一般的なシステム設定が表示されます。

日付及び時刻は、PC の日付・時刻と自動的に同期されます。システム管理者は、計測データの信頼性を維持するために、日付・時刻を定期的にチェックして、必要に応じて調整してください。

3. **[計測単位]**をクリックして、システムで使用する温度の単位を選んでください(摂氏 °Cか華氏 ° F)。
4. **[次へ(N)>]**をクリックしてください。

– Saveris Base に GSM モジュールが付いている場合には、SMS サービスの基本設定を入力するためのダイアログが表示されます。(日本国内では、GSMモジュール内蔵の Saveris Base は使用できません。)

GSM モジュールが付いていない場合には続けてステップ 6 に進んでください。

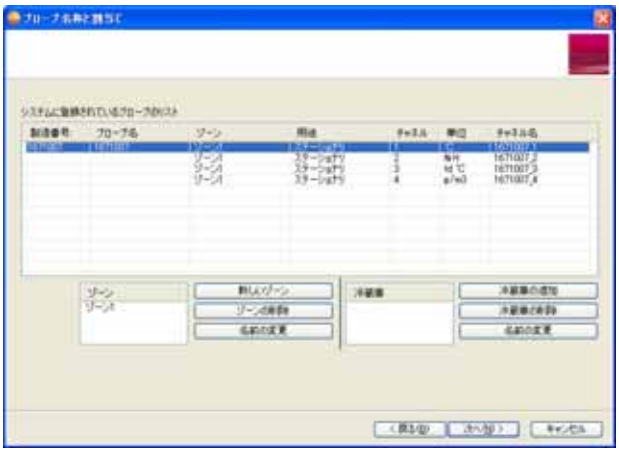
5. **PIN**及び**SMSセンター** の番号を同名のフィールドに入力してください。

PIN 及び SMS センターの番号は、SIM カードの同梱書類に載っています。

入力した PIN が間違っていると、Saveris base はシャットダウンし、異なる SIM カードでないと再スタートできません。使用できるのは、オリジナルな SIM カードだけです。

6. **[次へ(N)>]**をクリックしてください。

– Saveris Base に登録されたプローブのリストが表示されます。



7. **[新しいゾーン]**をクリックします。
8. ボタンをクリックして選択リストを表示し、そのプローブを割り当てるゾーンを選択します。
9. 必要ならば、**TCタイプ** フィールドをクリックして、熱電対のタイプ(**T**、**K**、**J**、**T**、**S**等)を入力します。
10. 必要に応じて、**プローブ名** や **チャネル名** フィールドに入っているデフォルト値を変更します。

プローブを示すための **チャネル名** フィールドには、予め既定の名称が割り当てられています。これらの名称は個別に変更することが可能です。チャネル名は 15 文字以内で割り当ててください。

> **チャネル名** フィールドをクリックして、例えば"Room 4 "といったプローブを特定できる名称を入力してください。

11. **[次へ(N)>]** をクリックしてください。

– ルーターが Saveris Base に登録されていると、無線プローブの接続タイプの設定画面が表示されます。

ルーターが登録されていないときには、続けてステップ 15 に進んでください。

12. 割り当てようとしているプローブの**接続タイプ** セルをクリックしてください。

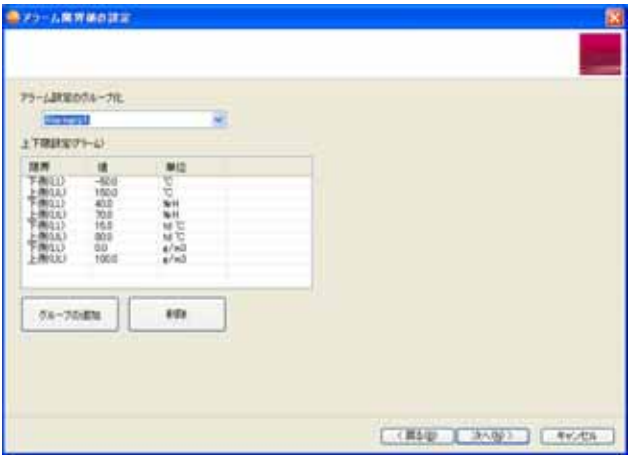
– セルにドロップダウンリストのボタンが表示されます。

13. ボタンを押してドロップダウンリスト（選択リスト）を開き、プローブを割り当てるルーターを選択してください。

14. ルーターを中継して Saveris Base にデータを送信する全てのプローブに関して、ステップ 12 と 13 を行ってください。

15. **[次へ(N)>]**をクリックしてください。

– **アラーム限界値の設定** のダイアログが表示されます。



16. 複数のアラーム限界値が必要な場合、個別のアラーム・グループを作成できます。グループ作成は、デフォルト設定値を上書きするか、**[グループの追加]** をクリックして、新規に作成します。

限界値とは、Saveris baseがアラームを発するための基準となる値です。

下限値 及び **上限値** フィールドには既定の数値が入力されています。必要に応じてその値は変更することができます。

測定値が、下限値あるいは上限値を超えると Saveris Base はアラームを発します。

> **下限値** フィールドをクリックして、下限値を変更してください。

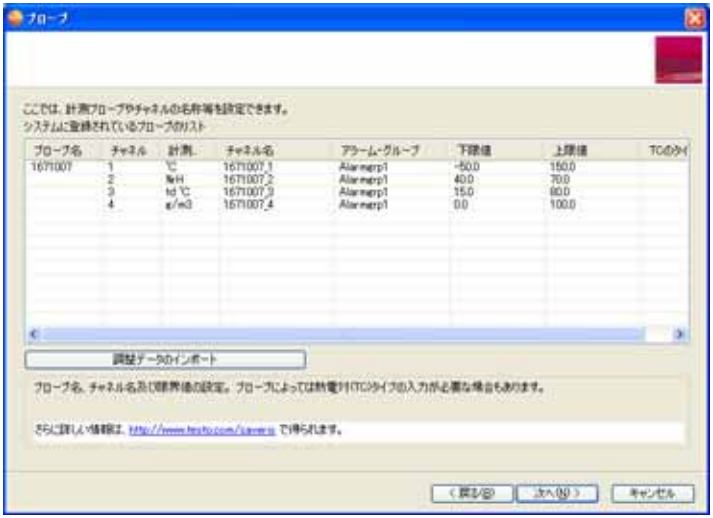
全てのプローブ・チャネルが同じ限界値を取るようにしたい場合には、コラムのタイトルをマウスで右クリックし、コンテキスト・メニューで **全てに適用** をクリックしてください。この操作は次のステップの上限値にも当てはまります。

> **上限値** フィールドをクリックして、上限値を変更してください。

> 他の全ての新しいプローブに対しても、必要なフィールドが全て埋まるまで、ステップ 6 とそれに続く操作を行ってください。

17. **[次へ(N)>]** をクリックしてください。

Saveris Base に新しく登録されたプローブのリストが表示されます。



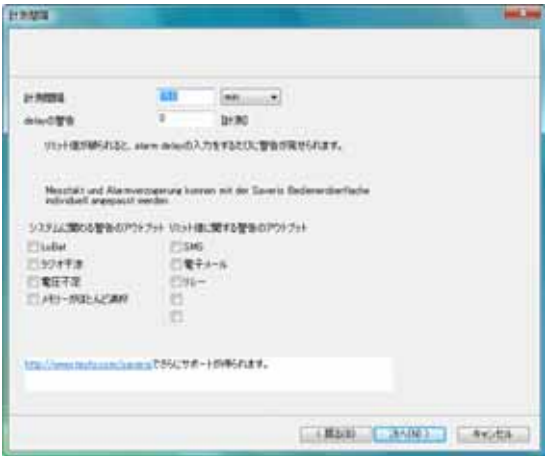
18. ボタンをクリックして、選択リストを開き、そのチャネルを割り当てるアラーム・グループを選択します。
19. 必要に応じて、**[調整データのインポート]** をクリックして、プローブ毎の調整データを個別に見ることができます。

> 必要に応じて、**TCタイプ** フィールドをクリックして、熱電対のタイプ(**T**、**K**、**J**、**T**、**S**等)を入力します。

> ステップ 18 を実行して、他のプローブについても同様の処理を行います。

20. **[次へ(N)>]** をクリックします。

– 計測間隔の設定、アラームの遅れ、アラーム発呼の設定ページが表示されます。



21. [計測間隔]を入力して、その時間単位を設定します。

計測間隔は、各プローブがどのくらいの間隔で測定値を取得し、保存するかを定めます。

時間単位に関して可能な設定:

- sec(秒)
- min(分)
- h (時間)

無線プローブの最小計測間隔は 1 分です。

この設定は、測定開始後に、個々のプローブに関して別々にソフトウェアで変更することができます。

---

22. [アラーム:遅れ]を設定します。

例えば、ここに"5"を入力すると、限界値を 5 回超えるまでは Saveris base によってアラームが発動されなくなります。

この設定は、測定開始後に、個々のチャネルに関して別々に、ソフトウェアで変更することができます。

---

23. どのような場合に[システム関連のアラーム]を発動するべきか決めてください。

24. アラームの出力方法のオプションを決めてください。

システム・アラームは計測システムの異常を示すために用いられます。システム・アラームに対して何等の処置も取らないと、間断のないデータ記録が保障されなくなります。

システム・アラームをSMSや 電子メール で出るようにした場合、

時間的な遅れが生じることがあります。

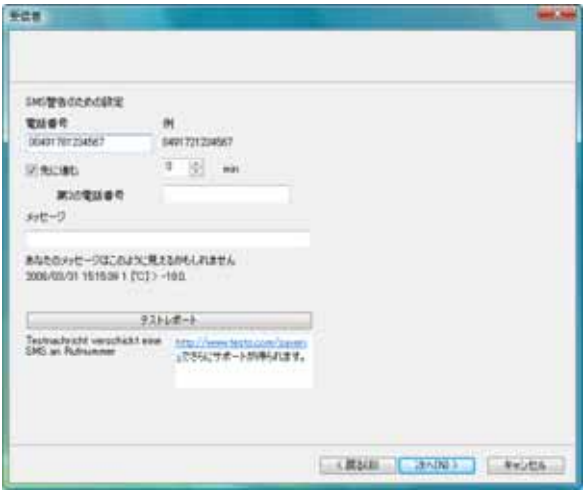
SMSによる通知機能は、Saveris BaseがGSMモジュールを備えている場合にのみ利用することができます。

設定は、後で、全てのプローブに関して、別々にソフトウェアで変更することができます。

25. **[次へ(N)>]** をクリックしてください。

– Saveris base に GMS モジュールが付いている場合には、SMS アラームの設定が表示されます。

GMS モジュールが付いていない場合には、続けてステップ 30 に進んでください。



26. アラーム・メッセージの受信者の**[電話番号]**を入力してください。
国コード、ネットワークまたはエリアコード、そしてローカルナンバーを入力してください。

27. 受信者からの応答がないときに、別の受信者(第2受信者)にアラーム・メッセージを送信したい場合は、**先に進む** チェックボックスにチェックを入れてください。

– **min(分)** リストフィールドと**第 2 電話番号** の入力フィールドが表示されます。

28. 最初の受信者が応答しないときに、どれぐらいの時間がたってからアラーム・メッセージを別の受信者に送信すべきかを**min(分)** リストフィールドを用いて決めてください。

29. **第 2 電話番号** フィールドで、アラーム・メッセージを送信すべき電話番号を入力してください。

    国コード、ネットワークまたはエリアコード、そしてローカルナンバーを入力してください。

30. アラーム・メッセージに付けるテキストを、**メッセージ** フィールドに入力してください。

> 全ての設定が正しいことをチェックするために、**[テストレポート]**ボタンを用いてテスト用のアラームメッセージを送ることができます。

31. **[次へ(N)>]**をクリックしてください。

– レポートに関する設定が表示されます。

> これらの内容がレポートのデフォルト設定として適用されます。これらの設定は後からいつでもソフトウェアで変更することができ、また新しい設定のレポートを追加することができます。

32. この機能を使用しない場合には、**自動的にレポートを作成する** のチェックボックスのチェックを外して下さい。

– この場合には、さらにステップ 36 に進んでください。

33. 自動的にレポートを作成する頻度を決めてください。

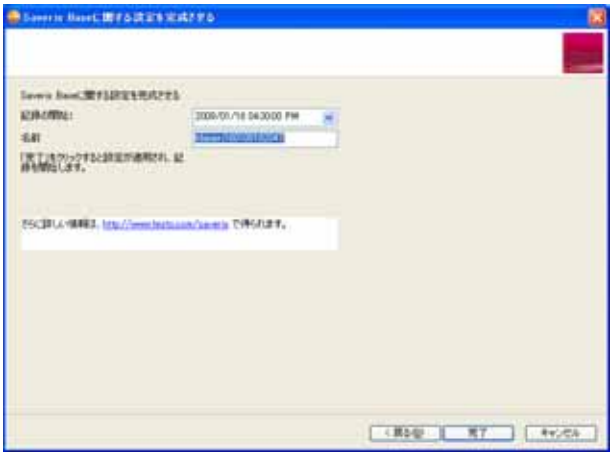
34. **コンテンツ** でレポートの内容を決めてください。

35. レポートを電子メールで送信したい場合には、**受信者に送る** のチェックボックスにチェックを入れてください。

– 電子メールアドレス及び件名を入力するフィールド、そして[アドレス帳]ボタンが表示されます。

36. 受信者の電子メールアドレスを入力フィールドに入力するか、[アドレス帳]を用いてOutlookのコンタクト先から受信者を選んでください。
37. 件名 フィールドに電子メールの件名となるテキストを入力してください。
38. ゾーンの詳細コメント に、レポートのヘッダー部に表示させるコメントを入力してください。
39. [次へ(N)>]をクリックしてください。

– 計測の開始日時とプロジェクト名に関する情報が表示されます。



40. 必要に応じて、記録の開始:の日時を遅らせてください。
41. 名前 フィールドでプロジェクト名を変更してください。

プロジェクト名には、計測の内容を判別することができる明瞭な名前を考えてください。

プロジェクト名を後で変更することはできません。計測内容や日時を推測可能な、明瞭な名前を考えてください。

42. ハードウェアの設定作業を終了するために[完了] をクリックしてください。

– 設定完了のダイアログが表示されます。

43. 続いて、コンポーネントを同調させるために、全てのプローブ及びルーターのCONNECT ボタンを押してください。
44. [OK]を押してダイアログを閉じてください。

– 設定を表示して印刷するためのダイアログが表示されます。

45. いずれかのボタンをクリックしてください:

- [はい]: 設定をインターネットブラウザで表示します。そこから印刷も可能です。
- [いいえ]: 設定を表示せずに作業を終了します。

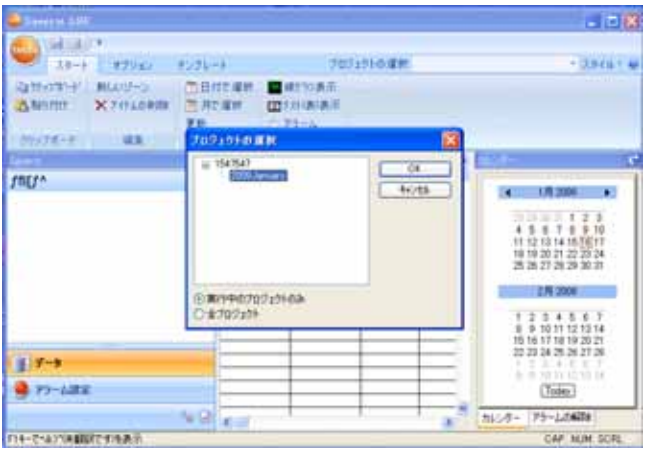
– これで測定の準備が整いました。

例えばハードウェアを壁に取り付ける方法などについては、別のCDに収められたPDFファイル形式の総合取扱説明書を参照してください。

2.7. Saveris ソフトウェアをスタートさせる

1. [スタート] | プログラム | Testo | Testo Saveris Small Business Edition を選択してください。

– Testo Saverisソフトウェア のプログラムウィンドウが プロジェクトの選択 ダイアログと共に開きます。



2. プロジェクトの抽出オプションを選んでください:
   - 実行中のプロジェクトのみ: 現在、測定を実行中のプロジェクトだけをツリー表示します。
   - 全プロジェクト: 完了したものも含んだ全プロジェクトをツリー表示します。
3. ツリーの中からデータを開くプロジェクトを選択してください。
4. [OK] で確定してください。

– Testo Saverisソフトウェア のプログラムウィンドウの中に選択されたプロジェクトの測定データが表示されます。

> 最初の測定データが表示されるようになるには、数分～数十分の時間が必要です。(無線プローブのデータ発信間隔が 15 分であるため)

株式会社 テストー

■ 本社

〒222-0033　横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル7F

- セールス　TEL.045-476-2288 FAX.045-476-2277
- サービスセンター（修理・校正）　TEL.045-476-2266 FAX.045-476-2277

■ 大阪営業所

〒530-0055　大阪市北区野崎町7-8 梅田パークビル9F

TEL.06-6314-3180 FAX.06-6314-3187

ホームページ　http://www.testo.jp　　e-mail　info@testo.co.jp

testo Saveris SBE を用いた計測データ・モニタリング -スタートアップのためのインストラクション 0970.4021J/05 (1.2012)

0970 4021 ja 05 V02.30 V04.1–5